



2016年3月期決算(非連結) 補足説明資料

2016年4月27日

株式会社 **ベリサーブ**

- **エグゼクティブサマリー**
- **決算概要**
- **次期の見通し(2017年3月期)**
- **トピック (当期の下期を中心として)**

エグゼクティブサマリー



決算概要	<p>□ 増収増益 売上高、当期純利益は、過去最高を更新。</p> <p>□ 売上高 実績 8,911 百万円 (40.6% 増)</p> <p>□ 営業利益 実績 1,202 百万円 (108.0% 増)</p> <p>□ 当期純利益 実績 792 百万円 (128.5% 増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動車関連並びにインタープライズアプリ分野での案件が急拡大 	※ 増減は前期連結値との比較
	<p>□ 受注残高 1,974 百万円 (前期末比 667 百万円増 51.1% 増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動車関連、インタープライズアプリ分野が中間期に引き続き高水準で推移。 	※ 増減は前期連結値との比較
配当	<p>□ 期末 10 円/株 (2円50銭の増配) 年間配当額 12.5 → 15 円/株</p>	
トピック	<p>□ 検証会社からお客様の開発におけるQCD向上パートナーへ</p> <ul style="list-style-type: none"> □ VsAutoStudioサービス提供開始 (テスト自動化支援) □ 沖縄の関連会社をニアショア拠点として100%子会社化 □ 東京大学医療社会システム工学寄付講座・ベリサーブ共同シンポジウム開催 □ 「ISTQB Platinum Partner」の認定取得 	
次期予想	<p>□ 売上高 予想 10,000 百万円 (当期比 12.2% 増)</p> <p>□ 営業利益 予想 1,350 百万円 (当期比 12.3% 増)</p>	

財務ハイライト



- 増収増益。売上高、当期純利益は、過去最高を更新。
(2008年3月期 売上高8,822百万円 当期純利益 788百万円)
- 自動車関連並びにエンタープライズ向けアプリ分野での大型案件が下半期に急拡大。
- デジタル機器、産業機器分野も堅調に推移。
- 売上高の拡大に伴い、2016年1月公表の通期予想を超える。

(単位:百万円)	2016年3月期(非連結)				2015年3月期					
	実績	2016年1月 修正			前期(連結)			前期(単体)		
		修正計画 (2016年1月)	差異	増減	前期実績 (連結)	差異	増減	前期実績 (単体)	差異	増減
売上高	8,911	8,500	411	4.8%	6,339	2,572	40.6%	6,319	2,592	41.0%
営業利益	1,202 13.5%	1,000 11.8%	202	20.2%	578 9.1%	624	108.0%	613 9.7%	589	96.0%
経常利益	1,212 13.6%	1,010 11.9%	202	20.0%	590 9.3%	622	105.5%	621 9.8%	591	95.1%
当期純利益	792 8.9%	600 7.1%	192	32.0%	346 5.5%	446	128.5%	347 5.5%	445	128.1%

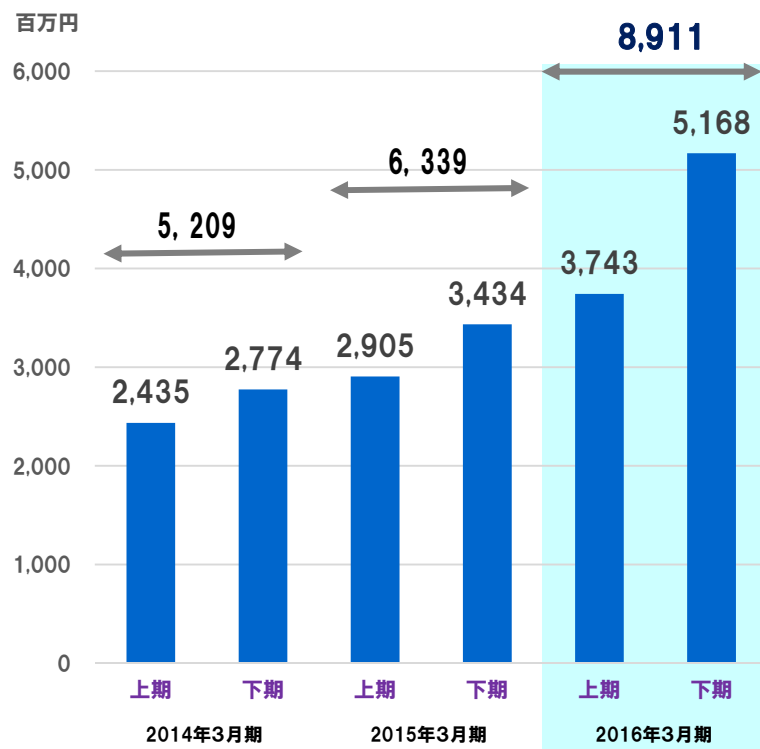
※ 当社は、2016年3月期より非連結決算に移行しております。

業績推移(半期別)

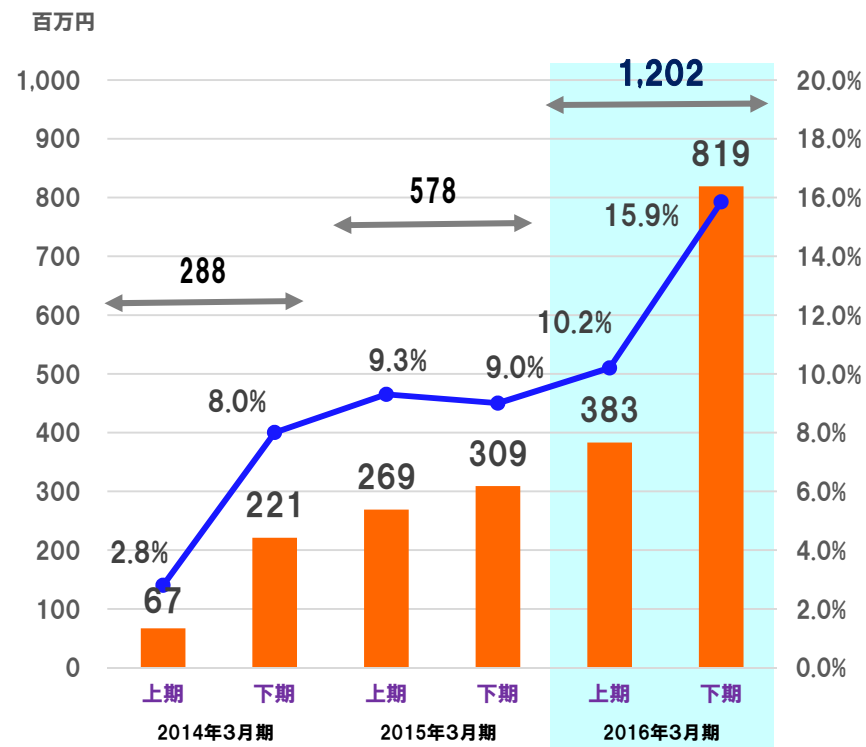


- 2014年3月期以降、連続して売上高、営業利益ともに増加傾向
 - 大型案件の寄与もあり、下期に売上高が急増。

売上高



営業利益・営業利益率



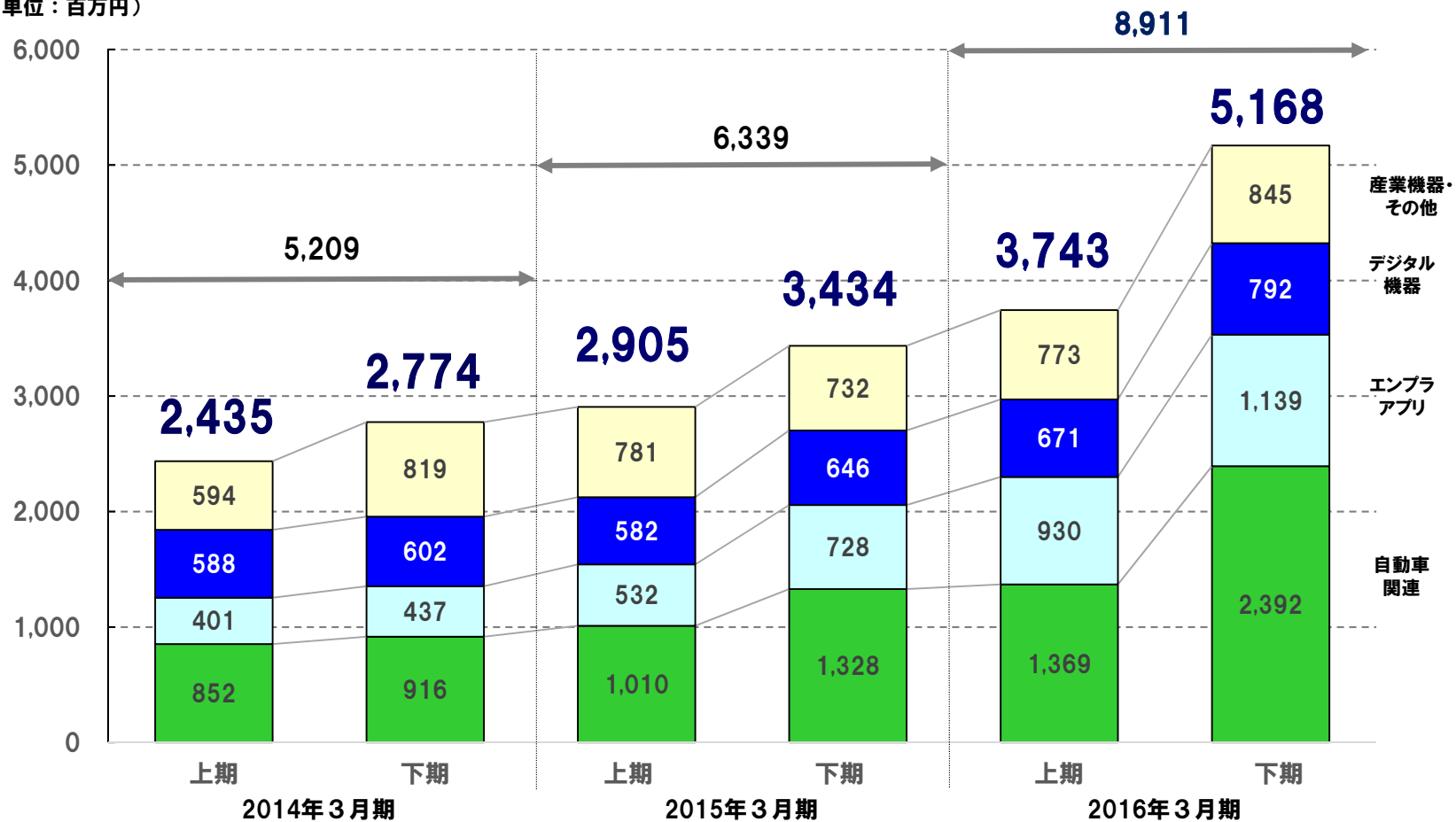
※ 当社は、2016年3月期より非連結決算に移行しております。2015年3月期以前につきましては、連結決算の数値を記載しております。

分野別売上高推移



- 自動車分野、エンタープライズ向けアプリケーション分野を重点分野と位置付けており、両分野共に、大型案件を獲得し、売上が急拡大。

(単位：百万円)



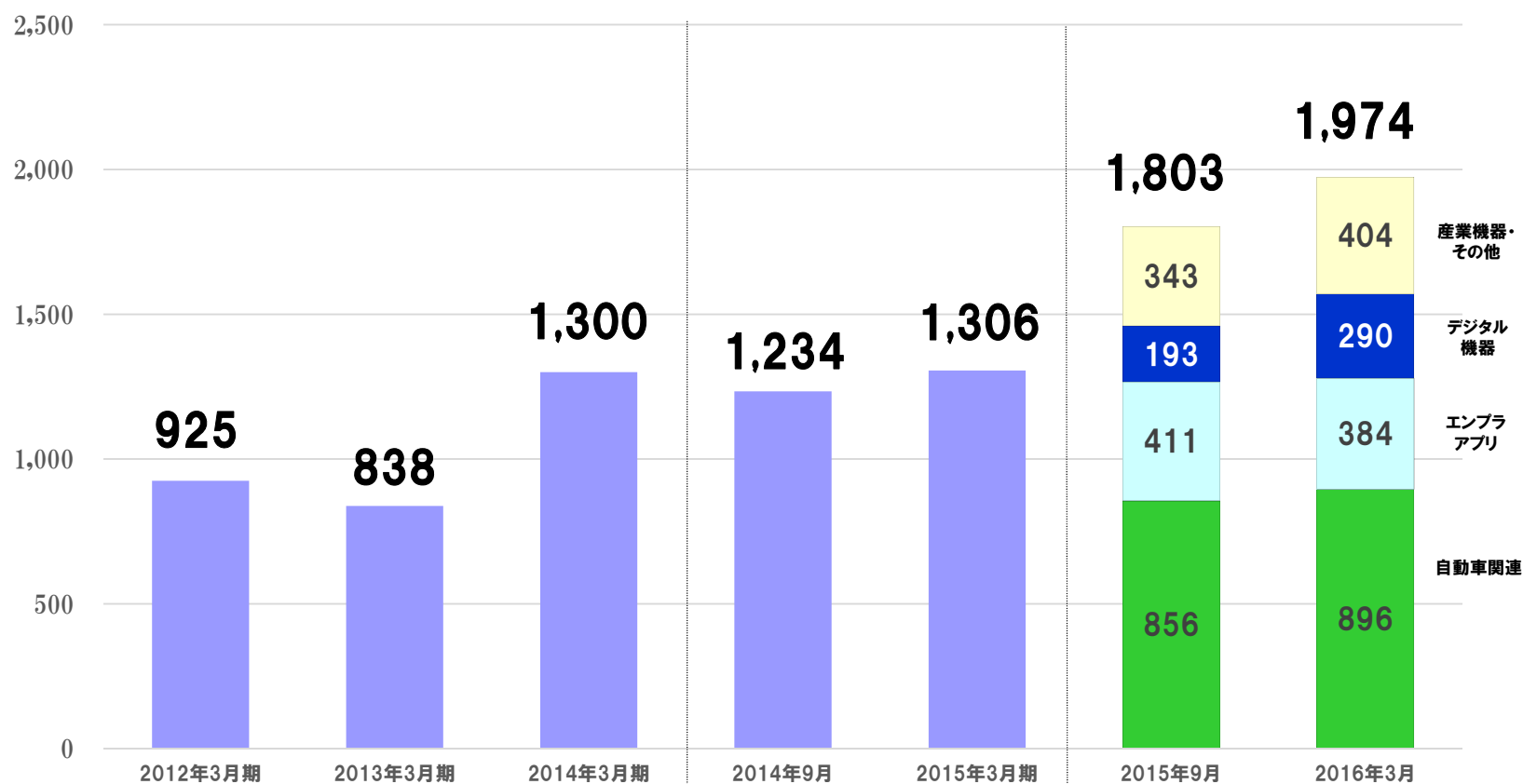
※ 当社は、2016年3月期より非連結決算に移行しております。2015年3月期以前につきましては、連結決算の数値を記載しております。

受注残高の状況



- 受注残高 **1,974** 百万円（前期末比 **51.1%増**）※ 増減は前期末連結値との比較
- 自動車関連、エンタープライズアプリ分野が、中間期に引き続き高水準で推移。

（単位：百万円）



※ 当社は、2016年3月期より非連結決算に移行しております。2015年3月期以前につきましては、連結決算の数値を記載しております。

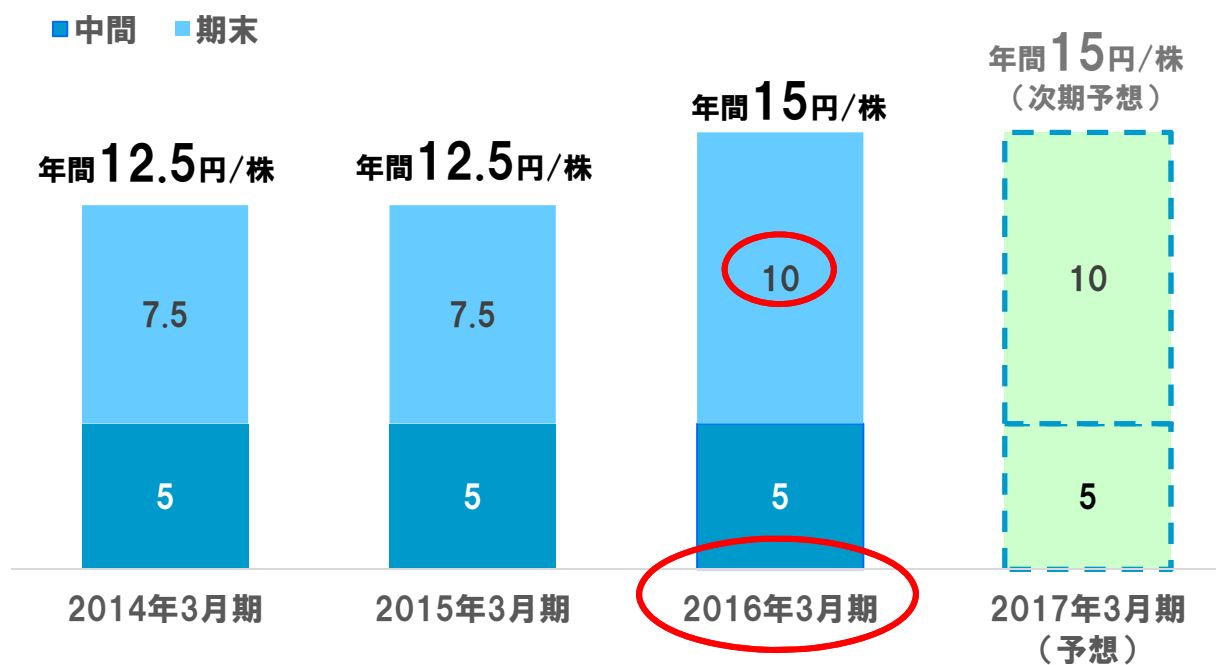
次期の見通し（2017年3月期）



	2017年3月期見通し	
	第2四半期	通期
売上高	4,900 百万円	10,000 百万円
前年同期比	30.9%	12.2%
営業利益	665 百万円	1,350 百万円
前年同期比	73.5%	12.3%
経常利益	670 百万円	1,360 百万円
前年同期比	72.9%	12.1%
当期純利益	440 百万円	890 百万円
前年同期比	77.2%	12.4%

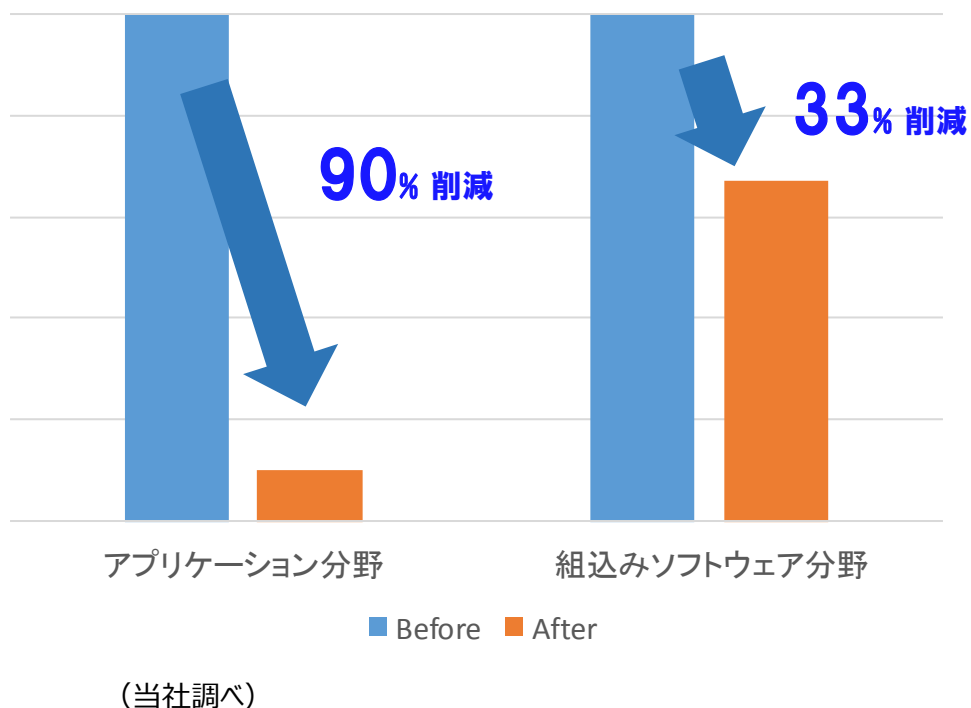
- 期末配当10円/株とし、中間配当とあわせて年間15円/株に増配

1株当たり配当金



※1株当たり配当金の記載は、株式分割考慮後の水準で記載しております。

VsAutoStudioサービス提供開始 (テスト実行自動化支援)



テスト実行の自動化では様々なテストツールが発売されています。

しかし、技術者不足やコストの為に継続的にテスト実行自動化の仕組みを維持していくことが困難で、ツールを導入しても、自動化を断念するケースが数多く見受けられています。

当社ではこうした課題に着目し、当社独自開発ツールを活用したテスト自動化支援として、

VsAutoStudioサービスの提供を開始しました。

また、2016年2月からは、WINDOWSアプリケーション向けサービスに加え、WEBアプリケーション向けのサービスも開始いたしました。

■ 沖縄の関連会社をニアショア拠点として100%子会社化

モバイル環境が進展していく中で、接続性検証ビジネス拡大には、当社の持分法適用会社である株式会社G I O T（当社出資比率37.06%）の検証能力、人材調達能力を確保することが必要と判断し、G I O Tへの出資比率を引き上げ、当社の子会社（後に完全子会社化）とすることといたしました。

G I O Tは、2016年4月1日より「株式会社ベリサーブ沖縄テストセンター」に社名を変更し、当社のテストセンター事業における国内のニアショア拠点として接続性検証サービスをはじめとした様々な検証サービスを提供していく予定です。



■ 東京大学医療社会システム工学寄付講座・ベリサーブ共同シンポジウム開催 (2015年12月2日)



昨年度好評でした共同シンポジウムを2015年12月2日に東京大学において開催させていただきました。

基調講演は、安田講堂において「IoTの可能性と課題」と題し、**東京大学大学院 情報学環の坂村 健教授**に、コンピュータが組み込まれたモノ同士がネットワーク連携して社会や生活を支援するというIoT(Internet of Things)が、あらゆる分野、産業において新たなイノベーションをもたらす可能性と課題についてご講演を賜りました。

また、午後からは品質向上に向けた取り組みについて、様々な企業や学術研究者の方からご講演を賜わり、盛況のうちに終了いたしました。

◆アフターレポートはこちら

http://www.veriserve.co.jp/event_seminar/2015/symposium2015.html

(ご講演大学/ご講演企業) 順不動

東京大学大学院、広島大学大学院

ソニー株式会社、ヤフー株式会社、GEヘルスケア・ジャパン株式会社、ANAビジネスソリューション株式会社、株式会社エクシング、

株式会社ティージー情報ネットワーク（2016年4月1日より社名変更 東京ガス i ネット株式会社）、マツダ株式会社

■ 当社社外における講演・イベント等

製品やシステムの品質向上のパートナーとして、様々な分野で当社社員が講演を行っております。
また、イベント等にも参加しております。

◆ 2016年3月

IoT Japan 東京／大阪に出展 (東京/大阪)

◆ 2016年3月8日、9日

ソフトウェアテストシンポジウム 2016 東京 (東京)

◆ 2015年12月15日／16日

第3回自動車機能安全カンファレンス (東京)

◆ 2015年12月4日

IoTイニシアティブ2015に出展 (東京)

◆ 2015年11月17日

BeSTCon 2015 (第2回 国際品質・テストングカンファレンス) (韓国)

◆ 2015年11月6日

ソフトウェアテストシンポジウム 2015 東海 (愛知)

■ ISTQB Platinum Partner 認定について（2015年10月13日）



当社は、日本で初めて、ISTQB Platinum Partnerに認定されました。

ISTQBのパートナープログラムは、テスト技術者資格認定者の技術を通して、品質技術およびテスト技術の向上に尽力している会社や組織を認定するものです。

※ ISTQBとは、International Software Testing Qualifications Boardの略称で、ソフトウェア・テストに関する国際的な資格認定団体であり、ソフトウェア・テストのプロフェッショナルを認定する資格を設けることで、ソフトウェア・テスト技術者の育成を図ることを目的として創設された団体です。JSTQBは、日本におけるソフトウェアテスト技術者資格認定の運営組織で、各国のテスト技術者認定組織が参加しているISTQB（International Software Testing Qualifications Board）の加盟組織として認定されています。つまり、ISTQBの加盟組織の各国団体は資格および教育・訓練組織認証について相互認証を行っているため、JSTQBが運営するソフトウェアテスト技術者資格は海外でも有効な資格となっています。

< JSTQB認定テスト技術者資格 ISTQBパートナーシッププログラム >

<http://www.jstqb.jp/partnership.html#List>

会 社 名	株式会社ベリサーブ
代 表 者	代表取締役社長 新堀義之
設 立	2001年7月24日
資 本 金	792百万円（2016年3月末日時点）
上 場 市 場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード 3724）
事 業 内 容	<p>お客様の製品やシステムのQCD向上のパートナーとして検証サービスを展開。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 製品検証サービスIT関連製品（ハードウェア、ソフトウェア）のシステム 2. セキュリティ検証サービスネットワークシステムのセキュリティ分野での検証・システム負荷検証サービス 3. その他サービスその他製品開発やシステム構築に伴う各種サービス
業 績（単 体） （2016年3月期）	<p>売上高 89 億円</p> <p>営業利益 12 億円</p>
社 員 数	619名（2016年3月31日現在）
子 会 社	株式会社ベリサーブ沖縄テストセンター



<免責事項>

本資料は、当社の2016年3月期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よってその実現・達成を約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料のいかなる部分も電子的または、機械的な方法を問わず、無断での複製、転送等を行わないようにお願いいたします。